

最新フラグシップモデル『Vevo F2xc』へのスムーズな移行を特別支援する、期間限定プログラムのご案内

Vevo Continuity Program

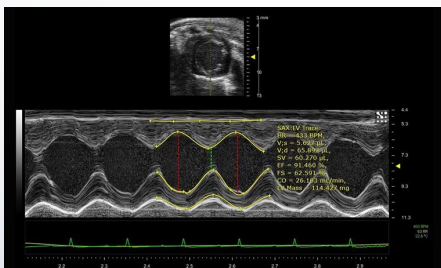
旧世代 Vevo ユーザー様向け特別プログラム

旧世代の実験動物用 超音波高解像度イメージングシステム Vevo シリーズ (Vevo 770、Vevo 1100 および Vevo 2100) をご所有のお客様向けに、最新の Vevo F2xc プラットフォームへ移行することを支援する、特別プログラムをご案内させていただきます。

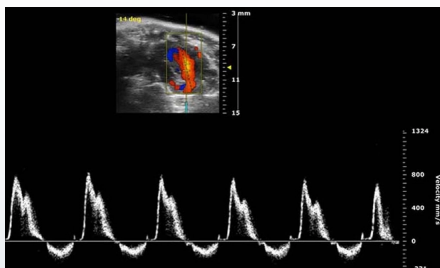
プログラム実施期間	2026/9/1～2027/9/30
プログラム適用対象	旧世代機種：Vevo 770、Vevo 1100、Vevo 2100 をご所有のお客様
プログラム概要	旧世代機種でご利用いただいていた心機能評価向け撮像モード (M-Mode、PW Doppler Mode、Color Doppler Mode、Tissue Doppler Mode) を Vevo F2xc へ無償で移行することができます。初期導入コストを抑えながら最新プラットフォームへ移行いただけます。
ご購入いただくもの	Vevo F2xc 本体、トランスデューサ (プローブ)、 VevoLAB (オフライン解析ソフトウェア) 下記に記載の、無償提供される以外の必要な撮像モードソフトウェア
プラン適用により 無償提供される 撮像モード	Vevo 本体に標準付属する B-Mode の他、次の 4 つの撮像モードが無償提供されます。 ① M-Mode、② PW Doppler Mode、③ Color Doppler Mode、④ Tissue Doppler Mode 合計：890 万円相当
条件	● LT モデルは適用外となります。 ● ご所有の旧モデル装置のご返却は必要ありません。 ● ご所有の旧モデル装置のライセンスドングル・超音波トランスデューサを引き上げさせていただきます。 ● ご所有の旧モデル装置を中古販売されることはご遠慮ください。 ● 条件適用後の旧モデル装置については、お客様にて廃棄をお願いいたします。

記載の金額は、2026年10月時点の情報です。変更になる場合がございます。

無償提供される撮像モード



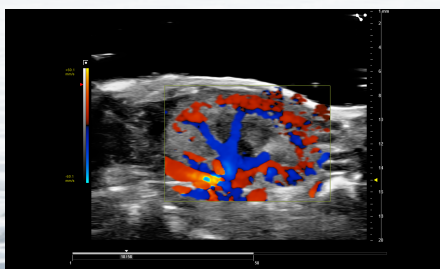
M-Mode



PW Doppler Mode



Tissue Doppler Mode

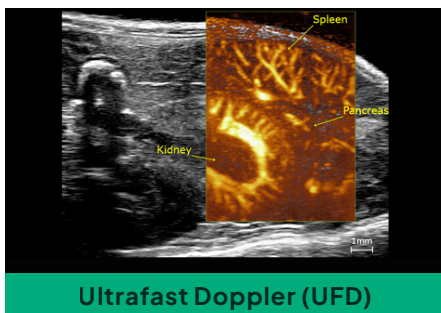


Color Doppler Mode

Vevo F2xc
本体



VevoF2xcで利用可能な、前臨床エコー最先端の撮像モード・解析ソフトウェア



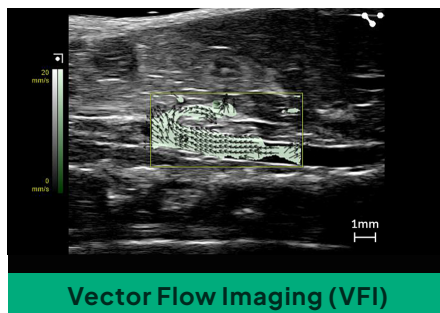
Ultrafast Doppler (UFD)

血流変化を超高速で捉える

従来のPower Dopplerが血流分布の可視化を主目的としていたのに対し、Ultra Fast Dopplerは超高速データ取得により血流変化のダイナミクスを高時間分解能で解析します。

期待される研究成果：

- ▶ 微小循環変化の早期検出
- ▶ 薬剤投与前後の血流応答評価
- ▶ 循環器疾患モデルの血行動態解析



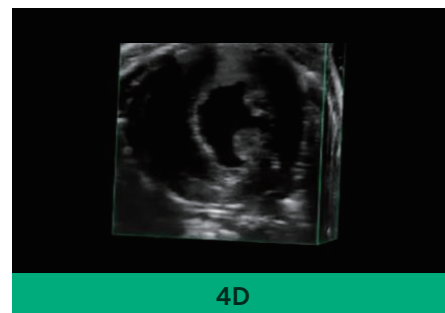
Vector Flow Imaging (VFI)

血流の方向と流れ方を可視化

従来のColor Dopplerでは評価が困難であった複雑な血流方向を可視化し、速度と方向を同時に解析します。乱流や渦流の評価にも有効です。

期待される研究成果：

- ▶ 動脈瘤・狭窄部の血流解析
- ▶ 血管リモデリング研究
- ▶ 血流力学と病態形成機序の解明



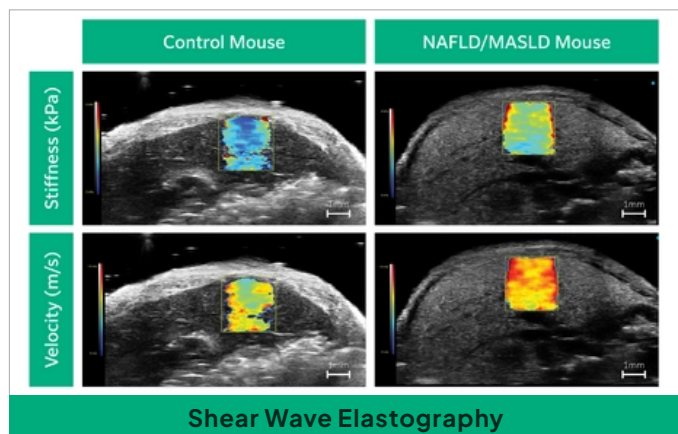
4D

MRIに迫る容積解析を超音波で実現

時間軸を含む三次元画像から心臓容積を高精度に解析。Cardiac MRIに匹敵する容積評価を、より高速かつ低侵襲に実施できます(撮像時間：約2-5分)。

期待される研究成果：

- ▶ 心室リモデリング評価
- ▶ 心不全モデル解析
- ▶ EF・SV・COの高精度評価
- ▶ 長期縦断研究における動物負担の軽減



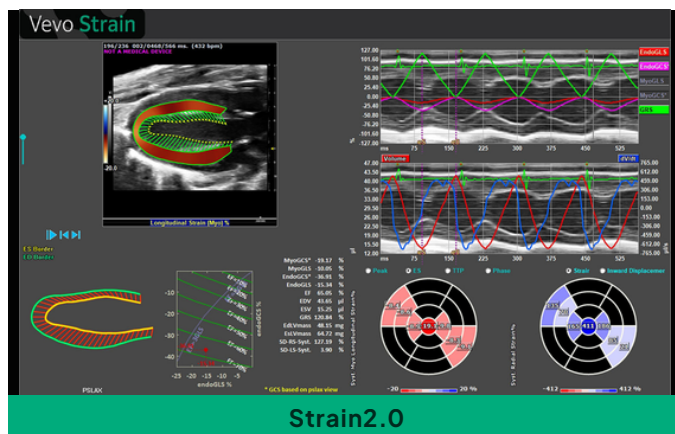
Shear Wave Elastography

組織の硬さを定量化

従来のBモード画像による輝度評価では把握が困難であった組織特性を、組織硬度(kPa単位)として非侵襲的に定量評価します。

期待される研究成果：

- ▶ 肝線維化評価
- ▶ 腫瘍微小環境解析
- ▶ 血管硬化研究
- ▶ 治療効果の定量評価



Strain2.0

心筋機能をより包括的に解析

心筋トラッキング技術により、多方向のGlobal Strainを同時解析。従来のEF・FSより包括的で高感度な心機能評価を実現します。

期待される研究成果：

- ▶ 心毒性の早期検出
- ▶ 心不全モデル解析
- ▶ 老化・代謝疾患研究
- ▶ 創薬における薬効評価

上記以外のモードもございます。お問い合わせください。

